

2027年国際園芸博覧会 Village出展内定のお知らせ

三菱グループは、このたび2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の企業・団体等によるVillage出展の参加者に内定いたしました。

本博覧会は、最上位（A1）の国際園芸博覧会であり、AIPH（国際園芸家協会）の承認に加え、BIE（博覧会国際事務局）の認定を受けて開催する国際博覧会（認定博）として、豊かな自然が広がる神奈川県横浜市の郊外部にて開催されます。花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を提案、横浜から明日に向けた友好と平和のメッセージを発信する博覧会です。

「GREEN×EXPO 2027」サイト <https://expo2027yokohama.or.jp>



提供：2027年国際園芸博覧会協会

三菱グループは、1970年の大阪万博以来、日本で開催される万博に毎回パビリオンを出展してきました。2027年に開催される国際園芸博覧会は、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県で初めての国際博覧会となります。この博覧会には、70の国や国際機関が出展する予定で、非常に重要なイベントです。また、開催地の横浜は、三菱グループにとって特別な場所です。三菱の創業者である岩崎彌太郎が、明治政府の命を受けて日本初の外国定期航路を開いた地であり、三菱グループとの深い縁があります。現在も三菱グループ各社との関係が続いています。

そして、本博覧会のテーマは「幸せを創る明日の風景」、サブテーマは「自然との調和」「緑や農による共存」等とされ、正式略称「GREEN×EXPO 2027」は「これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し世界と共有する場であること」を表現するものです。これらは、三菱グループ三綱領の「物心共に豊かな社会の実現に努力するとともに、かけがえのない地球環境の維持に貢献する」との「所期奉公」の理念と合致するものです。

気候変動対応を含むサステナビリティが重要なテーマの一つである現在の世界において、企業理念の在り方がますます強く問われている中、三菱グループの理念を一体となって広く発信することはとても重要です。

国内外から1,500万人の参加者が予想され、三綱領の理念に通じるテーマを掲げる本博覧会に、三菱グループとしてパビリオンを出展し、三菱グループの理念を発信する機会をいただけたことに大きな喜びを感じております。

なお、出展に向けた実行団体として『三菱国際園芸博覧会総合委員会』を三菱グループ24社で組織し、2027年3月19日の開幕に向けて諸準備を進めております。

本博覧会の会期中には多くの皆様にご来場いただき、お一人おひとりの心に残るようなパビリオンをお届けできるよう、三菱グループ一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞご期待ください。



提供：2027年国際園芸博覧会協会

お問合せ先

三菱国際園芸博覧会総合委員会 事務局

office@mitsubishi-greenexpo2027.com

三菱国際園芸博覧会総合委員会 構成会社

三菱重工業株式会社
三菱倉庫株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱マテリアル株式会社
三菱地所株式会社
三菱電機株式会社
三菱商事株式会社
ENEOSホールディングス株式会社
三菱ケミカルグループ株式会社
AGC株式会社
三菱製鋼株式会社
三菱製紙株式会社
三菱化工機株式会社
三菱ガス化学株式会社
日本郵船株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
明治安田生命保険相互会社
キリンホールディングス株式会社
株式会社ニコン
三菱自動車工業株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
株式会社三菱総合研究所
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

(2024年10月現在、24社)